

問14. 本人への働きかけとして大切にしたこと何ですか。

【小学校】

＜人間関係づくり＞

記述内容	在籍者数	経験年数
主体は本人であることを心掛けた。心の状態や考え方のくせ等を知るために時間をかけて本人と話し、見て、聴いた。	～149人	21年～
本人の気持ち(今どうしたい、どうしていききたいなど)	～149人	21年～
本人の自尊感情を高めること。できることから始める	～299人	21年～
傾聴	～499人	～5年
親だけでなく本人の意思確認	～499人	～20年
友人との関わりをなくさないこと	～499人	～10年
本人の思い、考え	～499人	21年～
信頼関係を築く、児童の気持ちを大切に考える。	～149人	21年～
関わりを持ち続けること。	～149人	～20年
無理強いはいしないようにした。	～149人	21年～
本人の意思を尊重すること。	500人～	～20年
信頼と安心感。保健室ならば登校できる＝養護教諭との関わりを求めていることと思ひ、常に子どもの立場に寄り添った支援を心がけている。	～299人	～20年
本人の気持ちは受け止めつつ、スモールステップでできるような声かけや刺激をすること。	～499人	～5年
本人の気持ちを大切に共感した	～499人	～20年
学校とのつながりが細くても切れないような支援 保護者への支援	500人～	21年～
本人の気持ちをよく聴く 待つ 寄り添う	500人～	21年～
本人の気持ちに静かに寄り添う ゆっくり本人の好きなことを一緒にする	500人～	21年～
本人の気持ちの受容、尊重	500人～	21年～
本人は教室へ行けないことを悩んでいたため、本人の気持ちに寄り添い焦らずじっくり待つことを心がけた	～299人	21年～
本人の意志、思いを受容すること、その中でできることへの支援。本人が一番悩んで辛い思いをしている・・・と言うことを忘れないこと	～499人	21年～
本人の興味関心、意志を尊重。本人のペースに合わせる	500人～	21年～
ありのままの本人を受け入れる	500人～	21年～
本人の興味のあることや出来ることを通して意志疎通を図った	500人～	21年～
本人へ寄り添い過ぎないようにした。(自分自身のメンタルも落ちるので)	500人～	21年～
本人の気持ちを大事にし、話しをきくこと。	～149人	21年～
本人の気持ちをしっかり聞き取り、信頼関係を築くこと。	～149人	～20年
可能な限り本人の希望を優先させた。	～149人	～10年
いつも本人に寄り添う姿勢で対応しつつ、ある程度の距離をとる。あくまでも担任のサポートという位置を崩さないこと。	500人～	21年～
寄り添うこと	～299人	21年～
本人の話や訴えを傾聴するようにした。また、補習のプリントだけでなく、本人の調子を見ながら折紙や運動をする等、一緒に共有する時間を持つようにした。	～149人	21年～
担任や保護者、他の機関に連携する際に、本人との信頼関係を崩さないように了解を得ながら行動した。	～149人	21年～
信頼を得ること	～149人	21年～
信頼関係	～149人	21年～
どんな困り感があるのかを常に考えて話を聞くようにしていた。	～149人	21年～
児童を十分に理解し良好な関係を築く。どうしたらよいかを一緒に考えていこうという姿勢を示す。	～499人	21年～
信頼を失わないこと	～499人	21年～
本人の気持ち、考えの表出	～149人	～20年
本人の気持ちを受容しつつ、周囲の思いなども徐々に伝える。	～299人	～10年
本人の言い分を否定せず、何でも聴く。(傾聴)教室復帰に向けて、休み時間に仲の良い友達を来室させ、自然な形で授業や学級の様子等を情報収集させ、学級の様子を把握し、不安を軽減させる。	～299人	21年～
いつでも受け入れられるように準備をした。ただし、保健行事や検診の際は難しく、場の確保と支援する人の確保が大変だった。	～499人	～20年
信頼関係。	500人～	～10年
思いを受け止めるようにした。	～299人	～10年

教室に行けたときには、しっかりほめる。また、家庭にも〇時間目に教室に入れた旨を伝える。時間やルールは遵守することを伝えているため、養護教諭の説明に納得いくよう、常にラポール形成はしっかりと行っている。	～299人	～20年
心の安定と傾聴。本児を受け入れ、信頼関係を築いてから学習支援、教室復帰へつなげられるようにしている。	500人～	～5年
ラポートを築くこと。できないこと、ダメなことははっきり言うこと。できることを一緒に探すこと。	～499人	～20年
最初は本当に少しずつ、本人が納得して進めるよう、決して無理強いはいしない。	～299人	～20年
信頼関係の構築。	500人～	～20年
小さいことでも褒めて自己肯定感を高めさせること。本人を受け入れること。	～149人	～5年
話を聞く(話を聞いてもらいたい児童が多々いるので、まずは聞きます。)	500人～	～5年
本人や家族の思い	～299人	21年～
気持ちを丸ごと受け止めること。	500人～	～20年
本人の話をよく聴くこと。受容すること。じっと見守る時間を大切にすること。	500人～	～10年
心の安定	～499人	21年～
否定しないこと、雑談を沢山すること。	～149人	～10年
本人とのラポート作り。気持ちをゆっくり聞く。	～149人	21年～
別室登校の子に毎日何回か会いに行く。その子話を沢山聞いてあげる。ポジティブな思考で会話する。	～499人	～5年
自己有用感を高める。無理強いしない	～149人	～20年
本人の気持ちの変化を見逃さない。本人のペースを大切にしたり関わり	～149人	～20年
本人の気持ちに寄り添い気持ちをくみ取った上での支援	～299人	21年～
信頼関係を築くこと。	～149人	～10年
信頼関係の構築	～149人	～10年
本人の気持ちをよく聞き、心の安定を図ること。	～149人	21年～
受容すること。自尊感情を理解し、育むこと。	～299人	21年～
距離感	～149人	21年～
本人の思いを吐き出しやすいような関係・環境づくり	～149人	～20年
距離感(友だちにならないように)依存してしまうと異動の時に不安定になる。	～149人	～20年
まずは保健室や養教が安心できる場・人であるよう環境づくりを心がけその後、友達や先生と繋がるよう支援した。	～499人	～10年
気持ちを受け止める(受容と傾聴)自己肯定感を高める。心の居場所づくり	500人～	21年～
あせらず本人の思いを大切にすること	～499人	21年～
子どもの気持ちに寄り添う、信頼関係、待つこと	～149人	21年～
本人の気持ちを十分に聞いてあげること	～149人	21年～
必要以上に関わりすぎないこと。	～149人	～5年
本人と信頼関係を築くこと。	～499人	～10年
意思の確認	500人～	21年～
本人の気持ちをよく聴くこと	～149人	～20年
心の安定。信頼関係の構築。	～149人	21年～
本人が何に困っているかに気づくためのカウンセリング	～499人	～20年
何があってもまずは、本人の気持ちに寄り添い、需要すること。	500人～	～10年
本人の気持ちを尊重	500人～	～20年
本人の意思を尊重する	～499人	～20年
本人の話をよく聴き、本人の気持ちを大切にしたり。	～499人	～5年
本人の思い、考えをしっかりと理解すること。	～299人	～20年
本人の気持ちを尊重する。	～499人	21年～
(小中兼務校)本人の気持ちに寄り添い、本人との信頼関係づくりに努める。本人の意志を尊重する。	～149人	～5年
話をよく聞くこと	～299人	21年～
教室復帰を無理強いせず、本人の状態に応じた対応を大切にしたり。	～299人	～20年
寄り添う 本人が動き出すのを待つ	～299人	21年～
信頼関係。本人の心への寄り添い。	～499人	21年～
本人の意思確認。その時々状況(環境 心身)の把握。	～499人	21年～
無理強いしないこと	～149人	21年～

<本人へのメッセージ・コミュニケーションなど>

記述内容	在籍者数	経験年数
コミュニケーションを図ることや、言葉や行動を認めること。	～149人	21年～
子供と共に活動する時間を多くし、コミュニケーションをとった。	～149人	～5年
肯定的配慮、得意分野をほめる。	～299人	21年～

本人の自己決定に沿った支援	～499人	21年～
所属は保健室ではなく、あくまで自分のクラスだということ。教室の様子が変わるように情報を伝える。	～499人	21年～
本人の意思を大切に。少しずつ前進していけるよう声掛けや励ましをしてい	～499人	21年～
心の安定をはかること。時には頑張ることも大切であると伝えること。	～149人	21年～
話をする、共感、こちらの考えを無理に押しつけない	～149人	21年～
本人の気持ちを大切にしながら、日々目標を持って生活できるように心がけた	500人～	～20年
本人の気持ちと、毎日少しずつ目標を決めたことに近づく努力と一緒に考えた	500人～	～20年
否定しない。本人の気分がよい時は積極的に学級の話に触れたり、学級へ向かわせる。	～149人	～5年
一日の予定を自分で決め、なるべく足が学校へ向くように支援した。	～149人	～5年
本人の心に寄り添った言葉かけ、自己有用感と自己固定感を高めるための働	～149人	21年～
肯定的な声かけ、役割づくり	～149人	～10年
時間をかけて本人とたくさん話す	500人～	21年～
自己決定させること	～499人	21年～
現状で満足しないように、タイミングをみてスモールステップの提案をした	～499人	～20年
本人が決めるまで教室復帰を促さない	～299人	21年～
本人がどう思って、どうしたいのかを言葉で伝えられるような関わり	～299人	21年～
心の安定、自己決定	～499人	21年～
してほしいこと、訴えを自分の言葉で話させるようにした。	～299人	～20年
本人の気持ちを尊重しながら、自立を促すような働きかけをする。	～499人	～20年
本人とのラポート作り、意思を尊重しながら少しずつ教室に戻るステップを踏む。(友人との関わり、参加できる授業には参加など)	～149人	21年～
本人の自己決定を大切にしている。(方法はいくつか 提案はするが、本人の気持ちを第1にしている)	500人～	～20年
「クラスの一員であるということ(所属感)」「あなたの担任はこの先生です」ということは常に意識させていた	～499人	21年～
本人がどうしたいか、という意志の確認を大切にした	～499人	21年～
約束事を決める	500人～	～10年
本人に寄り添いながらも、担任が一番という姿勢です。	500人～	21年～
児童の気持ちに寄り添い対応すること。目標を高く設定せず、スモールステップ	500人～	21年～
将来に向けての話を多くし、意欲を高めようとした。	～149人	21年～
子どものペースを守ること。時には子どもにいい意味でダメされること。	～149人	～10年
信頼関係を築くこと。	～149人	21年～
常に心によりそうこと。	～149人	21年～
本人の希望(どうしたい・どうなりたいのか)を聞き、それに向けてどうしていくかを一緒に考えること。	～149人	～10年
本人の意思を尊重すること	～149人	～5年
大人が無理やり子どもを動かさない。本人の気持ち・意思を優先する。	～299人	～5年
本人の気持ちに寄り添う・不安に思っていることを明らかにし、解消できるように方法を考える	～299人	～20年
なるべく友達や知らない子との関わりをもたせ、色々なことで悩んだり怒ったりぼやいたりしながらも頑張っているのだということを、他の子との会話で気付けるように話したりしていました。	～299人	～10年
本人の意思を尊重すること	～499人	～5年
本人の意思を尊重した活動に取り組ませる	～299人	～5年
無理強いすることなく、かといって、すべて本人の思い通りということでもなく、その時々で対応も変化してきた。とにかく「丸ごと受け入れますよ」という思いを伝えてきた。	～149人	21年～
自信を付けさせる(活動→ほめるの繰り返し)。本人が実行できるルールを決める(ただ保健室にいただけでは、学級のルールから離れ、規律が乱れてしま	～499人	～5年
見通しを持たせること。担任、友人とのつながりを深める手立て。	～299人	～20年
本人の持つ力を信じながら、心理的負担を考慮しつつ、教室へ行けるような働きかけをした。	～299人	～10年
本人の思いや考えを焦らずに引き出すこと。安心できる時間を過ごせるような活動をする。教室にすぐ戻る必要はないことを、態度・言葉・活動内容により示していくこと。「心の学習」の時間としてポジティブに保健室での時間を活用す	～149人	～10年
保健室で抱え込むことなく、役割分担を決めて対応する。本人がどうなりたいかを意識させ、そのために何をするか自覚を促した。	～149人	21年～
本人のペースを適切に把握すること。	500人～	21年～
本人の気持ちを大切にしながら、教室復帰への働きかけをする。	500人～	～5年

1日の計画を自分で立てさせる。	～299人	～20年
本人の気持ちを十分に聞き取り、自己決定したことができるように支援すること。	～499人	～20年
会話の中で、本人の思いや感じていることを毎日引き出せるよう促すこと。	～499人	21年～
本人の意思を尊重し、本人の納得を得ながら、教室復帰を勧めていく。	～299人	～20年
本人が思っていることを言えるような雰囲気作り	500人～	21年～
本人の話をよく聞く。意思を尊重しつつ提案をする。	500人～	21年～
本人の気持ちを大切にすること。どうしたいか、どう思っているかなど。	～499人	～20年
今が人生のゴールではない。今、つらかったり、うまくいかないことがあっても、諦めたり投げやりにならないで欲しいと言うことは伝えている。	～499人	21年～
ルールを決めて守ること。	500人～	21年～
それぞれ役割分担を明確にし、子供を取り囲む環境を整理して事に当たる。	500人～	21年～
本人の意思を尊重する。	500人～	～10年
よく話を聞くこと。また、保健室でも学級と同じペースで過ごさせる。他の児童とも関わりを持たせる。	～499人	～5年
意欲に繋がるような会話。	～499人	21年～
本人の気持ちを大事にすること、できる部分は本人に選択させること。	500人～	21年～
本人の意思を尊重する。(ケースにもよりますが)何かしら学級との関わりを持てる支援もする。	～299人	～20年
無理強いしない。	～299人	～20年
安心できる環境づくり、コミュニケーションを通じて信頼関係づくり	～299人	～10年
その日の本人の心身の状態を考慮して、教室の前まで行ってみよう刺激したり、ベッドで休養させたりしたこと。	500人～	～10年
相手の気持ちに寄り添って対応すること。	500人～	21年～
子供を丸ごと受け入れる姿勢。その上で、子供のことを思って、アドバイスしたり指導したりしても、子供には伝わるように感じました。	～299人	21年～
本人が気持ちや思いや願いを言葉にできた時は、じっくり聴いて、承認する。安心できる場の提供。できなかったことではなく、出来ていることに注目させるよう意思を尊重し、おしきせにならないようにした。	500人～	～20年
今、大切な時間を過ごしている。バツではない。	～499人	21年～
過去の対応(強引に教室に戻される、親と離される)を引きずる子どもも少なくないので、本人が納得できるような対応を心掛けてきた。	～499人	21年～
私はあなたの味方であるという姿勢を伝えている	～149人	～10年
教師や友達との関わりの中で心のエネルギーを与えられるよう努め、その児童の自発的活動を導く対応を大切にしてきた。	～499人	～20年
将来の自分の姿をイメージさせ、なりたい自分になるためにどんな行動が必要かを定期的に考えさせた。(高校進学を機に教室復帰)	～149人	21年～
無理をさせないこと。いつでも休んでいいというスタンス。	500人～	～20年
本人の心と体の調子を見みて、授業に参加させること。	～149人	～20年
スモールステップ。無理強いをしないこと。	～499人	～10年
1日の計画を決めて過ごさせるようにした。「忙しい日はあまり話ができない」とはじめに言うことで安心させた。	～299人	～20年
気持ちを理解しようとする。自分で考えられるように支援する。	500人～	21年～
自分の気持ちを話すことができるよう、温かく、真剣に接するようにした。	500人～	～5年
その子のペースを大切にしつつ、時期を見ながら教室復帰につながるような小さな課題を要所所で与えるようにしたこと。	～299人	21年～
どんな君でOKなんだよということを伝えること(行動の善し悪しはある)	～149人	～10年
自己肯定感の低い児童が多いため、できることは認め頑張りをほめること(学校にこられたこと、朝早めに登校できたこと、1時間でも教室に入れたことなど)	～149人	～10年
強制的にならないよう本人の自立を促す支援	～149人	21年～
興味・関心のあることを一緒に見つける	～299人	21年～
将来を考えてベストの選択ができるよう一緒に取り組んでいく	～149人	～20年
無理強いしない。自己有用感を高めるような声掛けに努めた。	～299人	21年～
自己決定させること	～149人	21年～
焦らず学校(学級)復帰より社会的な自立を目標に管理・指導的にならないように関わった。	～299人	～20年
本人の自己肯定感を下げないようにしていた。今の状態は、あなたの将来にとって無駄ではないよとか、励ましていた。	～149人	～5年
小さなことも自分で意思決定させる。	～149人	～20年
決定事項について、複数の選択肢を挙げて本人に決めさせ、本人ができることから取り組めるようにした。	～149人	～20年
無理強いをしないで、本人に選択させる。	500人～	21年～

本人の意志を尊重し、自己決定したことをやり遂げたら褒めて自信をつけさせ	～299人	～20年
本人の意思尊重。本人への寄り添い。	～299人	21年～
本人の気持ちを聞きつつも時には背中をおすような声掛けをする。今日も学校に来て良かったと思えるような関わり方を。	500人～	～10年
人としての尊厳を大切に接すること	～149人	21年～
本人が困っていること(言葉にできない気持ち)を代弁し、少しずつ前に進めるように支える。	～149人	21年～
本人が考え、本人が決定すること	500人～	21年～
登校したときは会えたことを喜んで迎えること。自分が力をつけて先のステップへ進んで行くと折々に話したりしました。	～499人	～20年
本人への意思確認をしながらできることから取り組むことを大切にし、できることを増やしていくことで本人に達成感と自信をつけられるような支援を大切にして	～499人	～10年
本人に目標を持たせて自己決定させて気持ちに寄り添うこと	500人～	21年～
まずは受容。その上で自分の意思表示をしっかりとできるように促すこと	～499人	～20年
つながりを絶やさないこと	～149人	21年～
安心感を与えること	～149人	～20年
本人の意思を尊重し、本人のペースを大切に	500人～	～10年
本人の気持ちや調子を第一にすること	～149人	～5年
気持ちに寄り添う、急かすようなことはしない	500人～	～5年
話をさせる	～149人	21年～
無理やりではなく、心が十分に休んでから自らが行動を起こすまで待つ時間	～149人	21年～
基本は学校に継続して来ることが第一目標。一日のリズム作り。教室との橋渡し。多少の「揺さぶり」は児童の側に立っていることがお互いわかる時のみに言	500人～	～20年
本人の希望や願いを第一に対応すること。また、クラスの一員で友達との関係を意識的に持たせるように工夫した。	500人～	～10年
登校した際に学校でどのように過ごすのかということや、これからどうしていきたいのか等、自分の考えを話させるようにすることを大切にしていた。	～149人	～5年
本人のペースに合わせて学校生活を送れるようにすること	～149人	～10年
常に対象児の状態を見極め、無理に教室に行かせようとしない。	500人～	～10年
本人に選択・決定させ振り返らせ、その日あったことによって本人保護者と共有	～299人	～20年
本人の意思を確認すること。	～499人	21年～
甘やかさない、自立を促す、距離感を保つ。	～149人	～20年
自分で選択させる	500人～	～20年
本人の意思決定	～149人	21年～
本人の意思を尊重して、無理はさせないように心がけている。	500人～	21年～
本人の意志を尊重すること。	500人～	～10年
・明るい雰囲気でも過ごせるよう、コミュニケーションを大切にする。また、「今日は1時間まで学校にいる」といった、児童との約束を必ず守り信頼関係を築けるようにする。 ・調子が悪そうな時は、少し距離をおき休養させる。 ・養護教諭だけでなく、たくさんの教職員と関わりが持てるよう保健室から連れだし、児童の学習の成果やがんばりを他の教職員に認めてもらう時間を作る。教室に行くタイミングなどを自分で意志決定、行動選択させること。	500人～	～10年
好き・得意な活動への参加を勧める。ほめる。	～299人	～10年
ラポール形成 本人に自己決定させる(活動内容や行く時間など)	～499人	～5年
無理強いせず本人が納得してから次の行動を促す。	～149人	21年～
登校できたことへのねぎらい、保健室が安心できる居場所の一つであることを伝え、本人の意志思いを尊重する。	～299人	～20年
信頼関係を築き、安心できる場所をつくること。	～499人	～5年
居場所づくり、本人理解、ラポールづくりに努める。無理強いはいらない。得意なことを伸ばし自身をつけさせる。	～149人	21年～
落ち着いて保健室にいられる環境作りと関わり。	～299人	21年～
本人の存在を大切にする。学校が安心できる場所と感じられるようにする。	～299人	～5年
本人が安心できる場所と時間が作れるように心がけた。“安心”を考える時に何が本人にとって“不安”“心配”なのかを多方面から考えるようにした。	～149人	21年～

<居場所づくり>

記述内容	在籍者数	経験年数
安心して過ごせること	～299人	～20年
本人が熱中して行えることを見つけて、学習と合わせて行えるようメリハリをつけて、時間設定をした	～499人	21年～

話ができる「場の雰囲気づくり」を心がけた。思いは言葉に出せるように努め	～149人	21年～
保健室で安定して過ごすことができるようになったら、関われる人間を増やすようにした。例えば「勉強は教えられないから、プリントは教頭先生に〇つけてもらってもいい？」など、スモールステップでつなぐ。信頼ができたところで担任も	500人～	21年～
安心して過ごせる居場所づくり 自己肯定感や自尊感情を育てること	～499人	21年～
保健室は中継点で、最終目標の教室の存在を常に心掛けて働きかけた	500人～	21年～
本人の心の様子とペースを尊重し、安心して過ごせるよう配慮	500人～	21年～
そばにいる安心感とべったりしすぎない距離感を作る。教室・担任があなたの居場所である(担任も友達も待っている)と伝えつつ対応する。	500人～	21年～
心の安定、学校の居場所づくり(安心感)。	500人～	～20年
児童の心の安定が図られ、落ち着いて学習できるようにした。	～299人	～10年
理解しよう(したい)とする気持ちで接する。安心できる過ごしやすい場所や時間の確保。	～149人	21年～
居場所の確保で安心した環境づくり	～149人	21年～
不安感の把握。本人の望む居場所の確保。本人とのラポートをしっかりとるこ	～149人	21年～
登校した際は、安心できる場としていられるよう心掛けた。	～299人	21年～
安心していられる場の提供	～299人	21年～
本人が安心していられる居場所づくり	～499人	21年～
安心できる場の雰囲気作り。勉強は大切と言い続ける。	～499人	21年～
居場所作り、心のより所となるような接し方。	500人～	21年～
安心していられるための居場所の確保と担任へ気持ちを代弁して伝える。	500人～	21年～
本人の内省を図ること。本人の言語化をサポートすること。安心安全の環境。	500人～	～10年
学校での居場所作りに努め、毎日登校できることを目標に声がけをした。	～499人	～10年
居場所の確保を十分に行ってから、背を押すようにしていました。	500人～	～5年
一緒に絵を書いたり、掲示物を作ったりなど一緒に〇〇する時間。	～299人	21年～
安心して過ごせる空間作り。	500人～	21年～
避難場所として使用できる関係性の構築と、前向きになれるような働きかけをすること。	～149人	～20年
学校における居場所作り	～299人	21年～
調子が良い時も悪い時も保健室が居場所となるように構えていたこと。	～149人	～20年
自己意思決定させる。安心できる居場所づくりと信頼関係づくり。	500人～	21年～
居場所作り。	500人～	21年～
居場所作り。プライバシーを守る。	～299人	21年～
気持ちに寄り添い保健室が安心できる場所となるよう心がけた。何に困っているのか気分の気持ちが言えるよう時間をかけて関わった。	500人～	21年～
安心・安全な場の提供。自尊感情を高める関わり	～299人	21年～
受容 居場所づくり	～299人	21年～
無条件で受け入れること。安心できる場の確保。	500人～	～10年

<他職員とのかかわり>

記述内容	在籍者数	経験年数
担任との関係が悪くならないように、連携をとること	～299人	21年～
本拠地はクラス、活動決定は担任と本人で決める。	500人～	～20年
校内で連携し、共通理解のもと、職員が同一歩調で関わること。	～149人	21年～
養護教諭との関わりだけでなく、担任はもちろん、他の職員、クラスの友人たちとも関わりを多くすること	500人～	～5年
担任、学級とのつながりが途切れないように常に連携を図って対応できた。	500人～	～10年
無理強いしない。時間のメリハリ。学級や学年との関わり。担任の先生が気にかけていることやその子のためにやっている良い行いをこっそり本人に伝える。	500人～	～5年
担任や支援委員会への定期的な情報提供と、適時に実施しているケース会議により、状態にあった対応を心掛け、保健室だけにならないようにする。	500人～	21年～
本人の意志を確認しながら、少しずつ養教以外の大人との関わりや自習の提案をしていった。	500人～	21年～
まずは安心して過ごせる環境作り。 本人ができること、やりたいと思うことから一緒に取り組む事。 チームでの対応。(職員間、保護者も交えて共通理解と役割分担)	～149人	～20年
担任が一人で抱え込まないよう、ケース会議等で見立てを立て、共通理解のもと、本人の思いを大切にしながら対応する。	～299人	～20年
児童との信頼関係の構築、児童の問題背景の見立て、特別支援コーディネーターと連携しケース会議を開くことで児童の状況について関係職員間で共通理	～149人	～5年

教職員全体で同じ方向を向いて対応できるよう心がけた。ケース会議で話し合った方針・目標に向けて養護教諭として果たすべき役割は何か考えて関わった。	～499人	～5年
養護教諭との関わりだけでなく、7学年の先生方と関わる場面を積極的につくって決まりを守る。他の学級の子ども、職員との関わりを持たせる。	～149人	～5年
本人の意思を尊重した関わり、担任保護者との連携	500人～	21年～
一人で抱え込まず学校全体で取り組む	～499人	～20年
自己表現できるような働きかけ チームでの支援	～299人	～20年
本人と教師との間での約束(目標)設定。本人に選択させる場面の設定。振り返り。「できた」ということを増やす。	～499人	21年～
	～149人	～10年

<その他>

記述内容	在籍者数	経験年数
本人が行けるようになるまで待つ。ただし、「この活動なら教室に行けるかも」というタイミングは逃さないようにする。	～499人	～10年
本人が現在どの段階にいるかを見極め、それに応じた対応	～499人	～5年
特性の理解と支援の仕方	～499人	～5年
今日、登校して良かったと児童生徒が思うことができるよう、こちら側の準備をしっかりとしておく。子どもの状態あわせ対応を変える。	～499人	～20年
いろいろ聞くのではなく、話しはじめるのを待つ。「～をやろう」という声がけはせず、やり始めたことから始めていく。チャンスは見逃さない。	～149人	21年～
中立的な立場で、本人の気持ちをしっかりと受け止める。その上で本人にとって今何が必要なのかを見極めて対応する。	～149人	21年～
こちらが一喜一憂しないこと。	～499人	～20年
〇〇をしないなどの指示はしない。	500人～	～20年
発達の課題が隠れていないか、慎重に観察し対応した。長期的に見て何が課題か、どんな力をつける必要があるかを常に考えながら対応した。	500人～	～20年
本人の意思を尊重しつつも、小学校低学年の場合、子供の言葉を鵜呑みにしないこと。	500人～	～20年
本人が話しやすい雰囲気作り	～299人	～10年
あせらないこと。急がないこと。ほめること。	～149人	21年～
無理に教室へは戻さないが、いずれは教室に戻るよう学習に興味を持たせること。保健室へは遊びに来ないことを明確にした。	～499人	～10年
・保健室での時間が安定するような働きかけ・支援 ・安心感を感じられるような環境・雰囲気作り ・出来る手伝いをさせたりして自己有用感を高める工夫	～149人	～20年
話を聞くこと、認めること、頑張っていることを保護者に伝えること。	～299人	～20年
基本的生活習慣が乱れないように心がけさせた。	～149人	21年～
安心できる環境作り。時間割を意識した活動。	～299人	～5年
あなたは大丈夫。できるよ。と前向きになれる声掛けや前向きになれるようなワークシートを実施した。	～149人	～20年
担任と同じ目線で評価しないこと	～149人	～5年
自分自身の心の余裕を持って関わること。自分自身に余裕がないとうまくいか	～299人	～20年

【中学校】

<人間関係づくり>

記述内容	在籍者数	経験年数
友人や教職員との人間関係づくり	500人～	21年～
寄り添うこと。目標を立てさせ、背中を押すこと。	～499人	21年～
職業としてではなく、人として生徒に信頼してもらえらる。生徒への先入観なしで、今現在の生徒のあるがままの気持ちを受け止めること。	～499人	21年～
一番困っている事を聞き出すのに、信頼関係を十分に築くこと。	～499人	～20年
安心して登校できるように、本人の気持ちをとりあえず受け入れるようにし、信頼関係を築くようにした。	～299人	21年～
訴えをよく聴くこと	～499人	～20年
本人や家族を否定しないこと、向き合う時はじっくりと関わること。養護教諭自身が弱さや不完全な部分を自己開示し、誰しもが悩みや迷いを抱えて生きていることをさりげなく伝えたい。時には生徒に相談にのってもらい頼られる自分を感じ「あなたに会えてうれしいよ」という態度で接するように心がけた。また、勉強でも掃除でも何か作業でも、一緒に取り組んで悩んだり笑ったりする経験を増やすよう意識した。	～149人	～20年
	～299人	～20年

関係作り, 将来へ向けての希望	～149人	21年～
対話の重視	～299人	21年～
十分に時間をかけて信頼関係を作ること。本人をあせらせない。	500人～	21年～
受容、共感的な理解	～499人	～20年
生徒の信頼を得られるように誠実に対応すること・自己有用感をもたせることなどを通して自尊心を高めること	～299人	21年～
(小中兼務校)本人の気持ちに寄り添い、本人との信頼関係づくりに努める。本人の意志を尊重する。	～149人	～5年
関係づくり	～499人	～20年
本人とのコミュニケーションがとれる雰囲気作り。個室等の環境作り。	～499人	21年～
受容、傾聴、共感的理解。将来への見通しを持たせる。考えさせる。	～149人	～5年
待つことも大切だし、必要な時には押すことも大切。関わりが深くなってからこのことを意識していました。	～499人	21年～
受容と共感	～499人	21年～
独立させず、友人や保健室来室者と会話させる	～299人	～20年
ラポートが取れた段階でルールをつくり自主的に考え行動する機会を意図的に作ったこと	～149人	～10年
一緒に楽しむことで信頼を得る	～299人	～20年
言葉がけ	～149人	21年～
信頼関係、明るく楽しい雰囲気作り	～149人	21年～

<本人へのメッセージ・コミュニケーションなど>

記述内容	在籍者数	経験年数
本人の意思の確認と尊重。校内支援委員会での決定事項の順守。	～299人	21年～
本人を大切に思っていることを伝える。	～299人	21年～
本人の気持ち、意思をききとり、無理のない範囲で活動をしたり登校したりすること。本人の嫌がることはしない。	～499人	21年～
状況に合わせた支援をすること。	～499人	21年～
今頑張っていることを、その都度褒める。教室復帰を焦らせるような言葉がけは避ける。	～499人	～5年
本人の精神状態。	～499人	～10年
本人が今、できていることを毎日、賞賛し認める。	500人～	～20年
自分で意思決定できるように関わること。	500人～	～20年
本人の1日の過ごし方の意向を確認すること。	～299人	21年～
とにかく本人の気持ちに寄り添い、受け止め続けるように心がけました。またさわやか相談員の方など校内で本人をサポートできる人たちにつなげていきまし	～499人	21年～
体調や本人がやりたいと思える意欲を引き出すこと。	～149人	～5年
本人の日々の状態を見極めての働きかけ。	～299人	～20年
自己肯定感を高めるための声かけや工夫	～499人	～20年
本人のペースを優先にしながら担任との連携を大切にした。	～499人	21年～
自立。自己有用感。焦らない。	～299人	～20年
本人の希望を尊重しながら少しずつステップアップをする。	～499人	21年～
本人の気持ち、思いを大切にすること(自分はどうしたいか)	～149人	21年～
本人の気持ちを大切にすること。	500人～	～10年
本人の様子を的確に把握した上での声かけ・アプローチ。	～299人	～20年
本人の気持ちを第一に考え、話をよく聞くこと。急がず、待つこと。	～299人	21年～
出来る範囲の内容から本人ができることを選ばせる。無理はさせない。	500人～	～20年
本人の意向	500人～	～20年
自分で決められる力をつけること。そのための働きかけ。	～499人	～20年
本人の現状や背景の理解に努め、本人や保護者に寄り添いながら対応する。	～499人	21年～
本人のペースに合わせ、スモールステップで目標を設定し、できたことを褒めた。養護教諭と担任だけでなく、少しずつ関わる人数を増やしていった。	500人～	～5年
意向を確認し、少しずつステップアップしていくこと。	～499人	～20年
本人の自立	～299人	21年～
本人の話を絶対否定しないこと。スモールステップで前進させること。担任への相談と報告を忘れないこと。	～149人	21年～
本人のペースに合わせること。	～299人	～20年
本人の思いを尊重しつつ、前へ進める支援をした。	～149人	～5年
本人が今どうしたいのかを考えさせ、それに対して行きながら、少しでも進んでいける取り組みを心掛けている。	500人～	21年～
自学への希望	～499人	21年～

本人の意思を確認しながら、スモールステップで教室との橋渡しを行うようにし	～299人	21年～
本人の気持ちを大事に、無理強いさせない。	～499人	～20年
大切にされる(ペース、考え方、表現、etc)経験の積みかさね	～499人	21年～
本人の話をよく聞く、答えを求めない。意志を尊重する	500人～	21年～
目標を持てるように支援したこと	500人～	21年～
声がけ、居場所作り、自分なりのペースでの学習	～299人	21年～
本人の気持ちの変化やタイミングの合わせて支援する	～499人	～10年
話を聞くこと。受け入れること。安心できる場を提供すること。	～299人	～20年
思いを聴く 受け止める 寄り添う 急がずゆっくりと アドバイスをするというよりは「一緒に考えていこうね」と。	500人～	～20年
何をどこまで頑張るのか、その都度確認すること。	～499人	～5年
本人が自分の気持ちや考えを他者へ伝えられるようになること。	～499人	～5年
気持ちを聴く 寄り添う 心の変化をフィードバックする	～499人	21年～
本人が自分の気持ちや考えを他者へ伝えられるようになること。	～499人	～5年
気持ちを聴く 寄り添う 心の変化をフィードバックする	～499人	21年～
不安や困り感を傾聴し、生徒理解に努めた。	～299人	～20年
強制(無理強い)ではなく、本人の気持ちを最優先した支援。選択肢を提示し、 できることから一歩ずつ。	～299人	～20年
本人に選択肢を与えて選ばせるように心がけていました。	～299人	～10年
小さなことでも認め、褒めること。安心できる場所であること。多くの時間や体験 を共有すること。	～149人	～5年
本人の興味があることは何かを早くつかみ、作業(コラージュ、塗り絵、フリー ノート、折り紙、切り絵、ナンプレなど)を通して、学校や学級になじませるように	500人～	21年～
本人の思い・願いを大切にすること	～149人	～5年
本人がどうしたいかを明確にすること。	～499人	～20年
意思決定を尊重すること	～299人	21年～
本人の考えをじっくり聴くこと	～149人	～5年
本人の気持ちに寄り添うこと	～299人	～10年
本人・家族との目標設定	～149人	21年～
本人の気持ちの状態を把握しあまり無理をさせず心の安定に努めた	～149人	～10年
本人の気持ちに寄り添う。構い過ぎない	～299人	～5年
意思決定を尊重すること	～299人	21年～
本人の気持ちを傾聴すること、安心感を与える声掛けや居場所づくりをすること、 無理をさせないこと、学校での楽しみを見付けられるようにすること	～149人	～5年
選択肢を与えて自分で選ぶということを小さなステップから根気よく行うこと	～149人	21年～
本人の気持ちを肯定すること。エネルギーが満ちてくることを待つ。	～299人	21年～
本人の変化を丁寧に観察すること。明るく接すること	～299人	21年～
本人の意志の尊重。自己決定の支援と支持	～299人	21年～
否定しないこと	～149人	～5年
本人の自己決定を第一に考えながら対応した。	～299人	21年～
本人はどうしたいのか。本人と保護者の意思を確認。本人が居たい場所、希望 する進路など将来どうなっていたいのか。	～299人	21年～
待つこと。先回りしてこちらが言葉にするのではなく、本人の意志、想いを大切に するために、待つことを大切にした。	～299人	～20年
無理に教室へ戻そうとしないこと。大人が焦らないこと。関係を切らないこと。表 面的な問題だけでなく抱えている根底にあるものを捉える。	～299人	～5年
本人の思いを聞き、できるだけ希望に添えるように話を聞く。	～299人	21年～
繊細な子どもが多いので、様々な面でかなり気を使い配慮した	～149人	～10年
よく話を聞く。すぐに指導しない。	～499人	～20年
本人が自己肯定感を持てるようにを念頭に関わった。また、自己決定をたくさん させるようにした。	～499人	～20年
本人の意思を尊重すること。一定のルールを決めること。登下校の際は教員に 声をかけること。一日の時間割を自分で決める。一日じゅうおしゃべりや読書で はなく勉強に時間も入れる。	～299人	～10年
本人がどうしたいのか気持ちを大切にしたい	～299人	21年～
SC,教職員、保護者等、周囲の大人への信頼感と本人の自己肯定感を高める	～299人	21年～
様々な事を言語化できない生徒が多いため、気持ちや考えを引き出すような 関わり方を心がけた。	500人～	21年～
本人の気持ち	～499人	21年～
本人の思いを尊重する	～149人	～20年
本人の意向を大切にし、決定することを本人にさせた	～299人	～10年

無理に教室に戻るような発言はしないようにし、本人がどうしたいのか本人に目標を立てさせる	～299人	～20年
小さいことでも自発的なことを大切にする	～299人	～5年
本人の話をよく聞くようにする	～149人	～5年
本人の頑張りや良い所を認め、ほめる	～149人	～10年
まずは本人の気持ちを理解するように努めた。タイミング。	～299人	21年～
話をよく聞くこと。成長を見守ること。	～299人	21年～
本人の意思の尊重(相談したり、一緒に考えたりする時間の重視)	～149人	～10年

<居場所づくり>

記述内容	在籍者数	経験年数
何がつらいのか、今どうしたいのかを聞いて、本人の気持ちを尊重した。・保健室にいられていることを一番に考え、無理をしないで、顔を出すだけでもok!とする生徒がいたり、落ち着いて学習をさせることを大切にしていた生徒もいたり、生徒によって対応を柔軟に変えるようにした。・保健室が安心して居られる自分の居場所となるように心がけた。	～299人	21年～
安心安全な居場所になること。本人の意志。	～499人	21年～
安心できる居場所づくり。信頼関係作り。本人の気持ちを尊重し、教室復帰など決して無理強いはいしない。	～299人	21年～
居場所づくり、安心できる場所の提供と同時に本人にとって一番居心地のいい場所は本来教室であってほしいというのがねがいなので「保健室が一番」とならないように養護教諭に依存しないようにしました。	500人～	～5年
まずは、本人が学校の中で安心できる場所であるように心がけました。対応は、養護教諭だけでなく担任や学年と連携し、多くの職員が関わるようにしました	～499人	～5年
毎日登校しても良い場所。	～499人	21年～
学校で安心していられる居場所の確保。	～299人	～5年
保健室が安心できる場所になること。何でも話せる人間関係を築くこと。でもルールは守らせること。	～499人	～20年
・学校での居場所となるよう努めた。 ・本人にとって大切なことを気づけるよう声がけする。 ・学年の先生との連携。	～149人	～10年
保健室が安心安全な場所であるとわかってもらうこと	～499人	21年～
クラスメイトに誘いに来ってもらうというのは、効果がある人もいたが、その後の経過は明るくないことのほうが多い。	～299人	21年～
担任との連携。本人が動くまで待つ。	～499人	21年～
本人が安心して過ごせる環境を与えてあげたいと考えている。	～149人	21年～
ほっとする居場所であること。学習支援室や教室へ向かうステップであること。	～499人	21年～
安心できる場所であるよう心がけた	～299人	21年～
本人の意思、他来室者がいた場合の配慮、早めに予定を伝えておくこと	～299人	～5年

<他職員とのかかわり>

記述内容	在籍者数	経験年数
本人の状態を他教員と情報共有をして、今後目指す姿を意識させるような働きかけを心掛けた。	～299人	～10年
生徒支援の中心は学級担任と学年の先生であることを念頭に置き、生徒と先生の関係が円滑になるよう、コミュニケーションを取る機会を設けた。	～499人	～20年
学年、保護者等との情報共有と連携	～299人	～5年
養護教諭だけでなくいろいろな人が関われる体制づくり	～149人	～5年
元気づけられるような声がけや、子どもの変化にすぐに気づけるようにして情報を収集し、関係者がうまく対応できるよう情報共有を図ること	～149人	～10年
本人がどうしたいと思っているのかを話し、本人、教員と共通理解すること(本人の思いを尊重する)	～299人	～20年

<その他>

記述内容	在籍者数	経験年数
進路(高校進学)を意識して学習支援(自学によるワークブックをする等)に力を入れすぎて、本人の気持ちに寄り添った対応ができなかった。	～149人	21年～
将来を見据えた支援体制の充実。中学校はより進路が大きく関わってくる	～149人	～10年
いろいろ聞き出そうとしないこと。	500人～	～20年
本人のストレス軽減を図るため、健康相談に重点を置いて関わった。	500人～	～5年
生徒の心と体に寄り添う関わりができるように努めている。	～149人	～20年

自分が思っていることは言葉にして伝えること。学校では少しでも勉強する。	～499人	21年～
あせらないこと。時間はかかると自分に言い聞かせた。	～149人	～20年
本人の主訴をできること、できないこと、努力の必要があるものと3つに分けて指導すること。	～149人	～5年
友人の力を借りる 役割をつくる	～299人	～20年
教室に戻すことが養教の仕事という前提ですか？そうすると今まで回答したことが意味をなさなくなるものも出てくると思います。ここそ問わねばならない本質では？ 枝葉はおいておいて、この「保健室登校の子どもにどのように向き合うのか。最終の着地点をどこにおくのか」が調査研究の核になり、核を問うてこそ研究となるのではないのでしょうか？私は、「足踏みしたことを糧にしてどうたくましくなり、（教室でなくても高校で集団に入っても就職で集団に入ってもいいので）人間	～299人	21年～
本人は我々が観察する以上に我々を感じ取り観察しています。私は常に自分の心を平常に保ち、生徒に耳を傾けています。	～499人	21年～
本人の身体状態や家庭からの情報等を総合的に判断して、その日の活動や授業等を組み立てたりする。	～149人	21年～
体調を見ながら、最終的に居る場所（居てほしい場所）は教室だということを伝え、クラスの時間帯を意識させて過ごさせた。	～149人	21年～
本人が保健室以外に意識が向いたときには、できるだけ保健室の外での活動に参加できるように支援した。	～149人	～10年
肯定的な声掛け、保健室以外の場所でも積極的に関わる	～299人	～10年
家庭環境の把握。その子の置かれている状況の理解。	～299人	～20年

【高校】

<人間関係づくり>

記述内容	在籍者数	経験年数
保健室登校になる原因を特定することも大事だとは思いますが、それにとらわれすぎると適切な対応ができなくなることもあると思うので、今できることを一緒に考えるように心がけていました。	～149人	～10年
安心させること。急がないこと。	～149人	21年～
コミュニケーションをとり、心の安定につなげる。	～299人	21年～
現在の状態をアセスメントし、本人が今後学校生活をおくる上での目標をスモールステップで考えられるよう支援した。	500人～	～5年
そのままのあなたが大切、と伝える。	500人～	21年～
信頼関係を築く関わり、できていることを認める、本人の意思気持ちを一緒に考える、選択肢の準備、背中を押すタイミング	500人～	21年～
受け入れ、見守り、安心してもらえること	500人～	21年～
いつでも見守っているという安心感を与える	500人～	21年～
信頼関係を作り安心できる場所になるようにした。（雑談をしたり本人の好きな事を話題にした）	500人～	21年～
傾聴、信頼関係を築く	500人～	21年～
大人を信頼で来ていない場合が多いので、まず信頼関係構築を心がけた、自己決定氏行動する経験が少なかったので自分で考えさせる	500人～	21年～

<本人へのメッセージ・コミュニケーションなど>

記述内容	在籍者数	経験年数
本人の思い、希望	～149人	～20年
本人の意思尊重。どうしたいかを本人に任せた（学校へ登校することを第一に考えて）	～149人	～20年
教室に行ってみようかなと気持ちが前向きになったことを見逃さないこと。	～149人	～5年
・本人の思いに常に耳を傾ける姿勢を示すこと。 ・短期的な課題と長期的な目標について本人が自覚できるよう意識して対応し	～299人	～20年
本人の気持ちや体調を第一に考え対応すると共に、本人の訴えを受け止めるように心がけた。	～499人	～10年
本人が「どうしたいか」を前提とした対応	～499人	～10年
本人の思いや希望を確認すること。	～499人	～20年
教室復帰を急かさない。保健室登校での約束・ルールを決める。できないことを責めない・できることを褒める。	～499人	～5年
1歩を大事にすること。出来たことを褒め自己肯定感を高めていく働きかけを行っている。	～499人	21年～

本人の今の気持ちにどう寄り添えるか	～499人	21年～
・選択肢、可能性を限定しない。(例)進路変更はしない方がいい等とは言わない。	500人～	～10年
・本人の意思を尊重する。最終決定は本人にゆだねる。	500人～	～20年
本人の意志や考えを聞いて認めること	500人～	～20年
本人の困り感を本人が自覚し、未来志向で解決していくことに支援すること	500人～	～20年
本人の気持ちに寄り添う	500人～	～20年
何が問題でこうなったかではなく、これから自分はどうか自身で考え自分の意思を伝えられるようにする	500人～	～20年
依存関係にならないように、なるべく生徒自身が考えて行動するようかかわった	500人～	～20年
自己表現できる機会場所を作り、気持ちの整理をサポート。自発的に教員とやり取りできる事前の調整。	500人～	～20年
本人のペースを尊重した。	500人～	21年～
本人の言葉で気持ちを話せるよう、時間をかけて向き合う。	500人～	21年～
本人の気持ちを大事にした。	500人～	21年～
本人の気持ちをくむ、無理じいしない	500人～	21年～
本人の心の安定、思いを話させ改善に向け一緒に考える	500人～	21年～
本人の気持ちを否定せず受け入れること	500人～	21年～
本人がどうしたいのか、どうなりたいたいのか、少しずつ目標を設定しそこに向かい今何ができるのか一緒に考える	500人～	21年～
本人が決め動けるような支援	500人～	21年～
本人に寄り添う事。本人も現状でいいとは思っていない、その先の目標を一緒に考える。	500人～	21年～
自己決定させること	500人～	21年～
本人の困り感を把握、実際にどのように対応してほしいかを探る	500人～	21年～
決して否定せず、本人の話したいタイミングを待つ	500人～	21年～
決断や選択は本人の気持ちを十分聞いて最終的に自分でするように促しそれでつまずいてもその決断選択を認める	500人～	21年～
登校してきたことを労う「よく来たね」と声をかける安心させる	500人～	21年～
状況がどうであれ本人の気持ちに寄り添う	500人～	21年～
自己肯定感の向上につながる支援		～10年

<居場所づくり>

記述内容	在籍者数	経験年数
本人に発達のな特徴や対人恐怖などがみられたため、落ち着いて学習できる環境づくりに努め、本人が安心して過ごせるよう配慮した。	～299人	～10年
登校しても生徒本人が安心、安全と思える場所の確保	～299人	～20年
本人へのサポート、居場所づくり	～499人	21年～
本人に安心して居られる場所があること、相談できる人・場所があることを感じてもらいながら、不安・不満などネガティブな情緒を抱えつつも健康な側面を育て大きくすること、レジリエンスを高めることを大切にしてきた	500人～	～20年
受容的態度。保健室での居場所づくり。精神疾患も抱えていたため、突発的な衝動に向いた場合の校内体制づくり。	500人～	～20年
安心して利用できるよう言葉かけ	500人～	～20年
・常時保健室で過ごすケースは、居心地の良さに心がけ、本人とのコミュニケーションで理解を深めるよう留意している。	500人～	21年～
・保健室及び別室共にSCへつながるよう働きかけている。	500人～	21年～
・保健室が安心できる場であるような環境づくり	500人～	21年～
・自己決定できるところは本人に決めさせ、自信をつけていくようにした	500人～	21年～
本人の真の必要を見極める。居場所の確保。心の燃料タンク補充に配慮	500人～	21年～

<他職員とのかかわり>

記述内容	在籍者数	経験年数
高等学校の場合、最終的には退学になるケースも多い。そのような事例では、進路部等の協力も得て、辞めたあとの進路についても十分、情報提供を行う。	500人～	21年～
どのような条件や状況が整えば教室に行けるかその都度確認し対応している担任教科担任と連携を取り対応しなければと痛感しました	500人～	～20年
欠時間や進路等現実的な問題は他教員に任せ、とにかく本人の気持ちに寄り添う対応を学校のルールに沿って行う	500人～	～20年
生徒を困らせずあくまでも所属は学年である事を意識し関わった	500人～	～10年

<その他>

記述内容	在籍者数	経験年数
規則正しい生活を心がけさせる。(好き勝手に寝ることや、暴飲暴食等はしな	～149人	21年～
あせらず、本人の成長を信じること。	～299人	～5年
今どんな気持ちや体調でいるかをゆっくり聞いてあげること。	～299人	21年～
教室に行けなくてもクラスメートの一員であることを意識してもらうため配布物行事の連絡をまめにした	～499人	～20年
保健室で役割を与え(お手伝い)感謝を伝える機会を作った	500人～	～10年
多様な生き方に関して理解を促す、成長をあきらめない	500人～	～20年
初任で初めてだったので何を大切にということは意識できなかった	500人～	～20年
強迫性障害の生徒は大人が常に視野に入るところにいないといけなかったの見える位置にいた。1日中一緒なのでコミュニケーションを取るよう心がけた	500人～	～20年
その日の体調や気持ちを確認しながら、今日できることは何かを一緒に考え、焦らずその子のペースで少しずつできることを増やすこと。	500人～	～5年
体調などからだのチェック	500人～	21年～
・本人と保護者の意思 ・段階に沿って、働きかけるタイミング	500人～	21年～
・本人のエネルギーが充電するのを待ち、スモールステップでの目標設定 ・本人の状態を見ながら、仲の良い友達と過ごす時間の設定 ・タイミングを計りながら、教科担任による教科指導	500人～	21年～
本人の状態観察と訴えの受け入れ、アドバイス	500人～	21年～
保健室から次のステップへ移行させること	500人～	21年～
高校は時間が限られているので、毎日日誌を書かせ、少しずつ負荷をかけて本人に自信を持たせる	500人～	21年～
自分のメンタルヘルスのにも依存的になりすぎないようにした。	500人～	21年～

【特別支援】

<人間関係づくり>

記述内容	在籍者数	経験年数
生徒の持ち物などから、興味がある話題を知ることができ、その話をよく聞くなどして、信頼関係づくりに努めた。	～149人	～10年
本人に寄り添い、一緒に作業をしたり、会話をするようにした	～149人	～5年
寄り添い	～149人	21年～
信頼関係を築く。	～299人	21年～
・受容的態度・傾聴を心がけ児童理解に努めた。 ・一緒に遊んだり、勉強や作業等をして信頼関係を築く。	～299人	21年～
前向きになれる声がけ、本人が興味を持つ話題を意識してコミュニケーションを	～499人	～5年

<本人へのメッセージ・コミュニケーションなど>

記述内容	在籍者数	経験年数
学校に来た時には、よく来たことを伝え、本人の訴えをよく聞くようにした。また試験前などは授業にできていないので、気になることがあることは聞き入れ担任にも伝え、試験対策のプリントをもらえるようにした。	～149人	～10年
・本人の意思を尊重 ・支援のタイミング、協力者をよく見極める	～149人	～10年
児童生徒の訴えを肯定も否定もせず寄りそい聞く	～149人	～20年
本人の気持ちを大切にする	～149人	～20年
まずはありのままの姿を認める	～149人	21年～
・本人の気持ち ・担任やクラスメートとの仲介	～149人	21年～
自立・成長の芽を摘まないようにする	～149人	21年～
本人の話をよく聞く	～299人	～10年
保健室登校の初期・中期の関わり方とその子どもをどうしていきたいかをイメージした上で本人の話をしっかり聞き、一緒に考えていく	～299人	～20年
本人のパワーがどれくらいたまっているのか、次のステップへ進むパワーがあるかを慎重に見極めるようにしていた	～299人	～20年
スモールステップでできること、やりとげたいことを達成させる。担任、保護者を含め円満でいるように努める。	～299人	21年～

<居場所づくり>

記述内容	在籍者数	経験年数
安心して過ごせるようにした。	～149人	21年～

<他職員とのかかわり>

記述内容	在籍者数	経験年数
ラポールの形成, 養護教諭と児童生徒だけの関わりにせず, 担任や児童生徒の友人との関わりをつなげること	～149人	～10年

<その他>